



家庭文庫からひろがる読書ボランティア活動



☆活動のひろがり やかまし村文庫の場合

- ・ 小学校・幼稚園の読書ボランティア
- ・ 図書館・公民館の読書ボランティア
- ・ 学校司書・小学校の図書事務として
- ・ 文庫の子どもたちも

☆楽しみの共有が原動力



— ☆☆ — ☆ — ☆☆ — ☆ — ☆☆ — ☆ — ☆☆ —

やかまし村文庫（家庭文庫・福岡市）の紹介

文庫のはじまり：1994年 9 月

現在の活動日：月 2 回（原則として第 2、4 金曜日…日程は学校行事などにより変更）

活動の内容：手づくり遊び・おはなし会・本の貸し出し

＊おはなし会は、ストーリーテリング・絵本の読み聞かせを中心に、詩の朗読やことば遊びを入れたプログラム。

＊夏休み前や春休み前におたのしみ会。12月末にクリスマス会を楽しんでいる。

2017年10月現在、こども会員は33名、蔵書は約2000冊。

— ☆☆ — ☆ — ☆☆ — ☆ — ☆☆ — ☆ — ☆☆ —

やかまし村文庫は、いつの間にか25年を迎えようとしています。子どもの本の貸し出しをする文庫として始める1年前、1ヶ月に一度の工作とおはなしの会としてスタートしました。「この本、借りてもいい？」という子どもたちの声に応じてはじめた文庫です。子どもたちの人数は多いときもあれば少ないときもありますが、絵本・本が好きで、その大切さをおもう人たちが自然に集まって、なごやかな文庫になりました。子どもたちだけでなく、大人たちもほっと一息つき開放される場になっているようです。ささやかな活動ですが、楽しく通ううちに本と友だちになっていた…というのが私の理想です。これからも地元の子どもたちと一緒にすごし、ひとりひとりに、その子の一冊となるような本を手渡すことができるよう、活動を続けていきたいと願っています。

— ☆☆ — ☆ — ☆☆ — ☆ — ☆☆ — ☆ — ☆☆ —